

## メリットを活かすこれまでの取組状況

- ・数学・英語の習熟度別少人数授業を基軸に、個々の学習状況に応じたきめ細かな指導を実施し「全国学力・学習状況調査」「東京都 児童・生徒の学力向上を図る調査」では、平均値を大きく上回り好成績を上げている。
- ・少人数・小規模校のメリットを活かし、授業での発表・発言の機会を多くするとともに、4人グループでの討議を基軸に「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に取り組み、個々の生徒の課題解決能力の育成に成果を上げている。
- ・小規模校のメリットを活かし個々の生徒の学習状況を確実に把握し、基本的学習スキ・基礎基本の学力向上を図る必要のある生徒を対象に、定期考査前放課後・長期休業中に課題学習授業を実施し、都立高校合格100%を目標に取り組んでいる。
- ・個別指導の徹底が難しいといわれる外国語教育活動（英語の授業）では、発音指導・発表スキルの向上推進に10～20名の少人数クラスできめ細かに指導している。
- ・各部活動の人数は多くはないが、他校との合同チーム対応等で開設部活動数を減らさず、生徒のニーズに応じている。部員数が多くないことで、レギュラーで活躍するチャンスも多く個々の生徒の主体性・自主性の育成に効果を上げている。
- ・生徒自ら取り組む各種行事や総合的な学習の時間等では、意図的に全員に様々な役職を経験させることでリーダー的・主役的立場や発表する機会が多くなる。自主性・積極性の伸長が図れ、凜とした若者の育成に効果を上げている。
- ・毎週の「生活指導部会」「虐待防止委員会」「特別支援教育部会」で、全生徒の漏れのない生活・心の状況確認を実施し100%漏れのない情報交換と対応策検討ができる。各種の問題対応・未然防止に効果を上げている。
- ・全校集会等、生徒全員が集まる場面で生徒一人一人の顔・心情が手に取るように把握でき、生徒と教師の距離感が近く心に寄り添う指導の推進が図れ、穏やかで温かな学校の風土となっている。